



【風通しのよさ】

年の瀬が迫り、朝夕の風が一層身に凍みる季節になりました。

さて、今年度になって多くの学校を訪問させていただきながら、学校組織マネジメントのキーワードとして一番よく耳にしたのが【風通しのよい職場づくり】です。

【風通し】とは、もちろん、報連相をはじめとした一方向または双方向のコミュニケーションを促す言葉だと思えますが、私は【風】ときいて、ふっと【風向きが変わる】【追い風が吹く】【風を読む】といった言葉を思い起こしました。

そこで考えますのは、【風通しのよい】とは、単なる情報の共有や確認ではなく、もう一步踏み込んで、組織のなかで目的をもって主体的に変化を感じ取ったり、勢いをつけたり、先を見越して予測したり…等、柔軟で人間味のある組織づくりをさす言葉なのではないかということです。

どの職場(学校)も、業務(授業)改善、人手不足、働き方改革等、解決すべき課題が山積みですが、改めて全職員で【風通しのよい職場づくり】を一層推し進めてみることも、より効果的に課題解決につながる近道になるのではないかと強く感じたところです。



【考え、議論する道徳】

道徳教育の充実に向けて、「考え、議論する道徳」の推進が重視されています。子どもたちが自らの価値観を問い直し、他者の意見に耳を傾けながら多面的に考える力を育むことを目的としています。従来の一方向的な指導から脱却し、対話を通じてよりよい生き方を模索する姿勢を養うことが期待されています。

次期学習指導要領の論点整理においても、この「考え、議論する道徳」の徹底が明記され、教育現場での実践が一層求められています。

こうした取組を支えるため、文部科学省は「道徳教育アーカイブ」を公開し、教材や授業事例、指導資料を提供しています。先生方におかれましては、このアーカイブも積極的に活用し、子どもたちが主体的に考え、議論し、よりよく生きる力を育む道徳科の授業づくりを進めていただきたいと思えます。



こちらから



「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的推進に向けて 〜「熟議」で学校をさらに魅力的に！〜

本教育事務所管内では、コミュニティ・スクールの導入が進み、お陰様で多くの学校に「学校運営協議会」が設置されています。また「地域学校協働本部」の整備も着実に進んでおり、地域と連携した多様な教育活動が展開されています。

例えば、学校運営協議会で協議し、地域の方々とともに取り組んでいる例として、「あいさつ運動」や「クリーン活動」、「避難訓練」などがあります。これらは、学校だけでは成し得ない、地域と一体となった質の高い教育活動の好例です。皆さんの学校では、どのような素晴らしい地域と協働した取組が行われているでしょうか。ぜひ、その実践事例を共有し、共に学びを深めていきましょう。

学校運営協議会を行う中で、「熟議」は欠かすことができません。では、「熟議」とは何なのでしょう。「熟議」とは、よりよい集団(学校)生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な

活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというものです。具体的には、下記のポイントを満たしたプロセスを指します。

1. 多くの当事者(保護者、教員、地域住民等)が集まって、
2. 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、
3. 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
4. それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
5. 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる。

この「熟議」を積極的に活用することは、学校運営協議会の運営をより効果的にし、結果として学校教育全体の質を高めることにつながります。

子どもたちの豊かな学びと成長のため、先生方には、ぜひ「熟議」の機会を積極的に活用していただきますようお願いいたします。



◆よろしければこちらの二次元コードを読み取っていただき、「12月号」の御感想をお寄せください。



問合せ先：中部教育事務所
(担当：濱砂)

TEL (0985) 44-3322

代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、「ひなたの学び」を推進しています。